

令和7年度 稲沢市地域自立支援協議会 第4回就労支援部会 議事要旨

【日 時】令和8年1月20日(火) 午後2時～午後3時35分

【場 所】稲沢市役所 東庁舎1階 会議室8

【出席者】就労支援部会委員5名 事務局5名

【欠席者】1名

【議 事】

あいさつ

1 協議事項

(1) 障害者の雇用環境の充実

(障害者雇用の普及促進と、雇用企業と福祉事業所の連携強化)

1) 障害者雇用フォーラムについて(報告) / 11月19日(水)

【参加者アンケート結果について】

委員A シンポジウム参加者は約400名、うち、アンケート回収率は3割であった。登壇者に対して、子の将来に希望が持てたという保護者からの意見、企業からの意見を受け止めて頑張ろうという当事者からの意見が見受けられた。

【運営用アンケート結果について】

委員A 特にマルシェ関連の意見が多数。マルシェの場所が狭い、車いすが通りにくい、販売時間が短いなどの課題があがった。

【福祉マルシェ参加事業所アンケート結果について】

事務局 時間が短い、通路が狭い、フォーラムの前より後がよいという意見があった。しかし、参加した事業所すべてから次回も参加したいとの反応を得た。かかった経費は、別添資料のとおりである。

部会長 マルシェについては、天候が良ければ外でもよい。

また、ブースを設けて障害者雇用を積極的に行っている企業のPRを行ってもよいのではないか。

委員A 障害者雇用について、フォーラム開催後に、一般就労したいかたの新規受付が増え、ハローワークの事業でも参加企業が増えた。雇用相談にのってほしいという企業もあった。A型事業所の支援員や当事者向けの勉強会への参加依頼もあった。

部会長 来年度も開催する予定か。

委員A 実施予定。しかし、今年度と同様は難しい。例えば、分科会を各事業所に任せるなど、役割分担が必要だ。

今回の雇用フォーラムは、障害者計画に就労に期待する記載があったことも開催の原動力となった。

事務局 令和9年度の障害福祉計画の見直しに向けて、アンケートを令和8年度に行うので、就労面の項目を設け、意見を求めている。

委員 A 地域のニーズを吸い上げ、答えられる就労支援部会でありたい。某市で、福祉事業所に通う人たちが2週間ほどの期間、採用前提でなく担当支援員がつき、2時間程度、様々な企業で体験する「かがやきウィーク」という取り組みがあり、就労選択支援事業のアセスメントに活用しているものがある。障害者を採用したことがない企業も、できるかと思える。当事者も、会社からどう見られているか客観的な評価を受けることができるものである。体験できる企業が、徐々に増えており、他県でも同様の事業をやり始めている。

部会長 実際、2時間だけの体験は可能なものなのか。

委員 D 体験するだけで、少し覚えて終わりだとは思う。

委員 A 企業も短時間で説明するスキルの向上、会社の好感度アップ、利用者を一般就労へつないでいく支援員の技術が向上した、などが効果としてあげられていた。利用者も働く機会を得られ、自分に合う仕事を知る機会にもなると思う。

## 2) その他の活動について (報告)

・障害者雇用促進キャンペーン/10月2日(木)

事務局 一宮市はこういうキャンペーンはやっているのか。

委員 B 市とハローワークと一緒に動くことは行っていない。雇用指導ではなく、懇親会のような場であった。訪問したことで障害者雇用について認識はしていただけたのではないか。

委員 A その2社には、ぜひフォーラムに来ていただきたい。

・福祉まつりについて/10月25日(土) 10:00~15:30

部会長 VR体験は長蛇の列で、大変好評だった。障害者雇用に取り組む企業の紹介ブースをもう少し設けることができたなら、保護者もより見ることができたと思う。

委員 A 職種をもっと増やしてはどうか。VR体験であれば、物流や介護、農業など多種多様な仕事体験ができると良い。

部会長 現状や将来の就労に向けて、ワクワク感が持てるような体験ができるといい。

・いなざわ特別支援学校見学会について/12月2日(火) 10:00~11:30

委員 C 福祉事業所の参加が多かったが、事業所スタッフとして障害のあるかたの採用を検討されている事業所があった。就職の幅が広がっていくとよい。

部会長 参加したのは、どこの企業か。

委員 C 市外から4社参加があった。

部会長 市内の参加企業はなかったということで、次回は市内の新規企業を引っ張り出せるといい。

(2) 就労選択支援事業について（事務局から説明）

- 部会長 就労選択支援事業に係るパンフレットは完成としてよいか。（異議なし）。利用者数については、徐々に広がっていくかなと考えている。春休みはどうか。
- 委員A 4月に新高1、新高2の進路説明会があり、就労選択支援の説明を行うため、問い合わせが増えると思う。
- 部会長 体制を整えて春休みを迎えられるようにしたい。
- 事務局 一宮市の状況はどうか。
- 委員A 共通のアセスメントシートを作ると聞いていたが、組織の大きい事業所は、会社内で統一のものがあるなど、各々の事業所で作成され、共通にする必要を感じていない。相談員や市からは共通のものがあったほうが良いと意見が出ている。
- 部会長 今後も利用者は増えていく見込みか。
- 事務局 その見込みである。高校2年時など、進路が定まっていない段階での利用が、効果があるのではないかと感じている。運営会議の場で、より就労できるよう就労選択支援をどのように活用するか部会で検討して欲しいと意見が出ている。
- 委員C 先日、就職が難しいなら、どの福祉サービスが合うか早めに知りたいと相談があり、就労選択支援の意味を理解していただき、1年生の9月に実施することとなった。
- 事務局 就労に関する相談があれば、もちろん積極的に就労選択支援を紹介していくが、その他周知広報として案があれば提供してもらいたい。

2 その他

- 委員B 12月19日に障害者雇用の状況報告の取りまとめが完了し、全国と愛知県で公表されているのでHPで確認いただければと思う。障害者雇用フォーラムをはじめ、様々な取り組みの影響もあり、実雇用率も雇用障害者数も過去最高となった。

【マッチング面談会inハローワーカー宮】

- 委員B 初の試みで、就労移行支援事業所や就労継続支援A型事業所と、企業との関係づくりのきっかけとしていただくような面談会を予定している。主に一宮・稲沢市内の企業に案内し、現時点で11社の企業から申し込みがある。福祉事業所に各企業のブースをまわって話をさせていただく。定員は企業や事業所合わせて40人とする。また、企画段階ではあるが、一宮市主催で企業とA型事業所、B型事業所とのマッチング面談会をやりたいという話があり、雇用に向けてというよりは、安定的な作業確保や賃金向上を目的としたもの。
- 事務局 市の障害福祉部署が企画しているのか。
- 委員B そのとおり。

- 事務局 令和8年度のフォーラムなど、早めに動く必要があるものは、事務局や部会長にお知らせいただき、部会前にやることがあれば教えてほしい。
- 委員A 開催会場として候補はあるか。
- 事務局 前提に、一宮市と稲沢市で交互に実施することは考えているか。例えば、医療的ケア児のシンポジウムは、一宮市と稲沢市で交互にやっている。稲沢市であれば、勤労福祉会館も候補となる。
- 委員A 勤労福祉会館の駐車場は、十分か。
- 事務局 令和7年度と同じ規模となると不足する。  
建物内は、多目的ホール定員約500人収容可能で、十分使える。勤労福祉会館以外となると、民間ではあるがエントリオなどがある。
- 部会長 開催する時期はどうか。
- 委員A およそ10月から11月くらいと考えている。  
また、仮に名古屋文理大学文化フォーラムの大ホールを使用する場合、マルシェができる場所は広がるか。マルシェの場所が狭かったという意見が多かったので。
- 事務局 広くはなる。壁沿いに配置しても余裕がある。しかし、利用金額は上がってしまう。
- 委員A マルシェの場所をどうするかが一番の悩みだ。通路が狭いと危ない。勤労福祉会館であればマルシェや分科会も屋内でできるのか。雨が降るリスクを考えると、マルシェは、可能な限り屋内で行いたい。
- 事務局 確認する必要がある。  
今後、協議することがあれば、協議に必要なかたを招集することはできるので、お声がけいただきたい。